

広瀬誠先生講演会・柔道教室記録

10月24日土曜日、第5回名古屋大学ホームカミングデイで名大柔道部主催の柔道家広瀬誠氏による講演会・柔道教室が行われました。



午前、野依記念学术交流館2階で講演会「人生を豊かにした二つの力」では120名余りの聴衆。午後、名大第4体育館で柔道指導講習会は多数の中学生の参加で盛大なものとなりました。

講師の広瀬誠先生はアテネパラリンピック銀メダル、北京パラリンピックでは7位入賞という輝かしい戦績の持ち主で、土曜日度々名大柔道部の練習にも参加しておられます。

午前の講演会は先日NHKで放映された映像と北京パラリンピックでのスナップ写真も交えてのものでした。1時間30分の枠は多数詰めかけた中学生には集中が続くのか当初気をもんでいましたが杞憂でした。さすが盲学校で教諭をされているだけあって先生の茶目っ気のある話し方もあり、ぐいぐい話しの内容に中学生ともども吸い込まれてしまいました。講演のなかでおそらく誰もが感銘を受けた部分はありがたいの反対語は当たり前というところだと思います。当たり前ではないと感じたとき感謝の念がわく、ありがたいという言葉が出る。先生が目の病で入院した前後の話は琴線に触れるものがありました。各年代いずれの参加者にも普段忘れていた人生如何に生きるか考える良い機会になったと思われま

午後の柔道指導会は先生の得意技の横巴投げ、袖釣り込み腰の解説とともに乱取りを行いました。



広瀬先生、また参加者の皆さんありがとうございました。

小川明男 記